

平成 24 年度東日本大震災に係る義援金活用事業報告書

平成 26 年 7 月 18 日
日本商工会議所

当所では、日本商工会議所を通じて、全国の商工会議所会員等から寄せられた義援金を活用し、被災者および商工業者の早期復旧・復興に資するため、下記の事業を実施した。

記

(1) 調査研究および情報資料の収集刊行に関する事業
(商工会議所法(昭和 28 年 8 月 1 日 法律第 143 号)。以下同じ)(9 条第 3、4 号)

① 地元行政の復興計画策定に係る、専門家招聘等費用

<いわき商工会議所>

- ・総合エネルギー産業都市プロジェクトの推進
- ・放射能モニタリングプロジェクトの推進
- ・小名浜港背後地プロジェクトの推進

ーに関する専門家招聘費用等(推進するための復興情報交換会費用も含む)

【専門家】 都市計画家 西郷 真理子 氏

株式会社野村総合研究所

戦略企画室 室長 木村 靖夫 氏

上席システムコンサルタント 梅屋 真一郎 氏

上席コンサルタント 福地 学 氏

上席コンサルタント 原田 純一 氏

② 地元行政への震災に係る要望作成・諮問への対応、商工会議所及び管内の被害状況に係る調査費等

<宮古商工会議所>

- ・補助金申請支援

「中小企業等グループ施設等復旧整備補助金事業」関係書類作成費用等

【採択グループ】

「いわて宮古街なか商人グループ」 107 者

「宮古はまぎく会」 14 者

<大船渡商工会議所>

1. 要望活動

ア) 多加良製作所大船渡工場存続要望(平成 24 年 6 月 12 日、北上)

出席者: 副会頭 水野 公正

- イ) 平成 24 年度岩手県知事を囲む懇談会（平成 24 年 9 月 18 日、盛岡）
出席者：会頭 齊藤 俊明、専務理事 上野 直和
- ウ) 平野復興大臣との要望懇談会（平成 24 年 9 月 19 日、東京）
出席者：会頭 齊藤 俊明、専務理事 上野 直和

2. 会員復興状況調査

- ・調査期間 平成 24 年 9 月 5 日～平成 25 年 1 月 31 日
- ・調査対象 1,767 社（調査回収数 1,684 社、回収率 95.3%）
- ・調査方法 調査票記入調査
- ・調査内容 復旧・復興状況、被災施設再開状況、仮設施設の復興予定、現状と震災前の業績、復旧・復興に向けての課題等

<塩釜商工会議所>

1. 要望活動

ア) 震災復興支援に関する要望

- ・井上義久衆議院議員（平成 24 年 11 月 25 日、東京）
- ・日本商工会議所岡村正会頭（平成 25 年 2 月 1 日、東京）
- ・中小企業庁、日本商工会議所、地元選出国會議員（平成 25 年 3 月 18 日、東京）

イ) 「グループ補助金申請に係る要望」

- ・地元選出国會議員（衆議院）（平成 24 年 11 月 16 日、東京）
- ・塩竈市長・地元選出県議會議員（平成 24 年 11 月 21 日、塩釜）
- ・塩竈市議會議長・副議長（平成 24 年 11 月 22 日、塩釜）
- ・塩竈市長、塩竈市議會議長（平成 25 年 3 月 13 日、塩釜）

2. 補助金申請支援

「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」

【採択グループ】

・塩釜市商業再生グループ	申請企業	37 事業所
・塩釜市観光再生グループ	申請企業	18 事業所
・塩釜エリア生活環境整備グループ	申請企業	11 事業所

3. 震災復興会員ニーズ調査

- ・調査期間 平成 24 年 4 月 6 日～5 月 25 日
- ・調査対象 会員 1,661 件（調査会週数 1,016 社、回収率 61.2%）

<石巻商工会議所>

1. 要望活動

「東日本大震災復旧・復興に関する要望」

※東日本大震災により甚大な被害を受けた石巻地域の経済界の産業およびインフラ等の復旧・復興に対し、内閣総理大臣をはじめとして国務大臣、国・関係機関に要望。

（要望先）内閣総理大臣・国務大臣（国土交通・農林水産・財務・復興 他）

中央官庁（財務省・国道交通省・農林水産省・経済産業省・中小企業

庁・水産庁 他)
政 党 (民主党・自由民主党 他)
民 間 (日本商工会議所・日本経済団体連合会・政府系金融機関他)

2. 震災の復旧・復興に関する調査

※震災発生から1年経過後の会員事業所の復旧・復興状況を確認するため、
全会員を対象として郵送による調査を実施。

- ・調査対象 石巻商工会議所会員事業所
- ・調査期間 平成24年9月1日～30日
- ・調査項目 ①被害状況、②事業状況および影響、③資金調達、④要望事項
- ・調査結果 ①被害状況
会員の約7割が何らかの被災を受けている。とりわけ、湊・鹿妻、門脇・大街道、工業港、中里、中央地区の被害が大きく、一方蛇田、山の手地区の被害が少なかった。
- ②事業状況及び影響
未だ営業再開にいたっていないところが大半であり、今後何らかの助成制度があれば再開に結びつくものと思われる。売上高のダウン、原材料・商品の不足、従業員の解雇等の影響をきたしている。
- ③資金調達
震災直後のつなぎ資金が融資されているものの、今後の設備投資や運転資金に対しては先行きが見えない状況である。

3. 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の進捗状況調査

平成23年度第3次グループ補助金で管内で3グループが認定。グループの構成員の復旧・復興状況を把握するため、認定グループ構成員を対象に調査を実施。

- ・調査対象 石巻商工会議所会員：認定グループ構成員
(水産・石巻港・中心市街地)
- ・調査期間 平成24年7月～8月
- ・調査項目 ①施設・設備の復旧状況、②資金繰り、③経営課題
- ・調査結果 ①施設・設備の復旧状況
認定事業者の47%が完了、実施中が37%
 - ・グループ補助金を受けた事業者は何らかの形で再開に向けて取り組んでいる
 - ・未着手事業者はインフラの遅れ、工事業者の都合により着手できていない

4. 関係機関との意見交換

東日本大震災により甚大な被害を受けた石巻地域の経済界の産業およびインフラ等の復旧・復興に対し、国務大臣、国・関係機関と意見交換会を開催。被災地が抱えている課題・問題点を意見交換、早期復旧と連携について協議。

(意見交換先) 国務大臣 (国土交通・農林水産・経済再生担当・財務・復興他)
中央官庁 (財務省・国土交通省・農林水産省・経済産業省・総務省・中小企業庁・水産庁・金融庁・内閣府・復興庁 他)

地元行政（東北地方整備局・東北経済産業局・東北財務局・宮城県・石巻市 他）

政 党（民主党・自由民主党 他）

民 間（日本商工会議所・日本経済団体連合会・日本銀行・政府系金融機関 他）

<原町商工会議所>

1. 要望活動

- ・日本商工会議所岡村会頭と東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会との意見交換会（平成24年7月24日、東京）
- ・原町産業復興特区作成・要望のための勉強会（平成24年6月8日、原町）
- ・内閣官房地域活性化統合事務局横山次長との意見交換会（平成24年9月24日、原町）
- ・福島商工会議所情報委員会・情報文化部会との情報交換会（平成24年10月22日、原町）
- ・日本商工会議所2月昼食懇談会（各地商工会議所との意見交換会）（平成25年2月21日、東京）
- ・根本復興大臣と日本商工会議所との懇談会（平成25年3月21日、東京）

2. 震災記録レポート作成、会員実態調査等

- ・東日本大震災・原発事故震災記録レポート作成
- ・原町商工会議所第2回会員実態調査・報告書作成

<相馬商工会議所>

1. 全会員訪問活動

震災後の状況などを把握するため、全職員で各事業所を訪問し、聞き取り調査を実施。あわせて、2. のアンケート回収を実施。

実施期間	相談件数
平成24年4月1日～平成25年3月31日	411件

2. 東日本大震災 発生1年後 営業状況アンケート調査の実施

支援策の基礎資料とするため、全会員に郵送によるアンケート調査を実施。

実施期間	送付件数（全会員）
平成24年4月16日～平成25年3月	1,217件

③ 被災者・被災商工業者向け各種支援措置の情報収集・発信に係る費用

<釜石商工会議所>

- ・所報等発行による情報発信
- ・会議出席による情報収集、発信

<宮古商工会議所>

- ・写真集「津波」関連費用（販売手数料、資料郵送代等）
- ・資料印刷代、トナー、インク代

- ・震災関係書籍代
- ・情報収集等にかかる費用

<大船渡商工会議所>

1. 会員宛情報発信

- ・「広報しおさい」会員事業所送付（発行回数 年6回）
- ・ホームページ作成による支援情報発信

2. 遊休機械無償マッチング支援プロジェクト贈呈式開催費

ア) マッチング機械等引き渡し会

- ・日 時 平成24年4月4日9時
- ・場 所 市内3企業工場内
- ・内 容 マッチング企業 4企業、機械等12点

イ) マッチング機械等引き渡し会

- ・日 時 平成24年5月19日10時
- ・場 所 仙台市卸町（仙台商工会議所倉庫）
- ・内 容 マッチング企業 3企業、機械等37点

3. 東日本大震災 被災地中小企業復興支援再生パソコン寄贈プロジェクト

- ・配布日 平成24年10月11日、12月3日、4日、平成25年3月12日、13日
- ・実施機関日本商工会議所
復興支援プロジェクト事務局（東北六県商工会議所連合会）
大学ICT推進協議会（国公立大学48校で構成）
日本マイクロソフト株式会社
- ・台 数 189台

4. さんりく基金被災地復興支援助成金事業広報費用ほか

ア) 被災事業者業務再開事業助成金

- ・募集期間 平成24年4月2日～11月30日
- ・申請件数 11件
- ・申請金額 5,530,478円

イ) 被災地域産業再生事業助成金

- ・募集期間 平成24年4月2日～平成25年1月31日
- ・申請件数 75件
- ・申請金額 17,399,867円

5. 各種会議・懇談会・視察の会場料・出席旅費ほか

ア) 日本商工会議所岡村会頭との意見交換会

- ・開催日 平成24年7月24日
- ・場 所 東京
- ・出席者 中井副会頭、新沼局長

イ) 日本商工会議所との懇談会

- ・中村専務理事他被災地現地視察
日 時 平成24年8月2日正午

- 場 所 大船渡プラザホテル 他
 来大者 日本商工会議所 専務理事 中村利雄氏 他 計5名
 出席者 正副会頭、上野専務、新沼局長、斉藤部長、佐々木課長
 ・坪田理事・事務局長被災地訪問
 日 時 平成24年12月5日
 場 所 大船渡プラザホテル 他
 来大者 日本商工会議所 理事・事務局長 坪田秀治氏 他 計4名
 出席者 新沼局長、斉藤会頭、佐々木課長
- ウ) 岩手県被災市町村等商業関係ネットワーク会議
 ・日 時 平成24年8月23日13時30分
 ・場 所 釜石市
 ・出席者 田端次長
- エ) 岩手県の復興事業に関する事業者団体との意見交換
 ・日 時 平成24年8月24日13時30分
 ・場 所 釜石市
 ・出席者 斉藤部長
- オ) 三菱商事株式会社復興支援に関するヒアリング
 ・日 時 平成24年11月12日16時
 ・場 所 一関市
 ・出席者 田端次長
- カ) いわて商店街復興シンポジウム
 ・日 時 平成24年12月19日14時30分
 ・場 所 釜石市
 ・出席者 小原課長
- キ) 三菱商事株式会社復興支援事業ヒアリング
 ・日 時 平成25年1月23日15時
 ・場 所 東京
 ・出席者 田端次長
- ク) つくば高エネルギー加速器研究機構視察
 ・日 時 平成25年1月30日
 ・場 所 つくば市
 ・出席者 斉藤会頭
- ケ) 宇都宮オリエンタル酵母工業調書食品機器視察
 ・日 時 平成25年2月6日10時30分
 ・場 所 宇都宮市
 ・出席者 斉藤会頭、上野専務、田端次長、水産業部会
- コ) 大船渡市議会産業建設委員会との懇談会
 ・日 時 平成25年2月8日13時
 ・場 所 サンリア会議室
 ・出席者 新沼局長、斉藤部長、田端次長、小原課長
- サ) 首都圏での販売強化・販路拡大を担うマーケティングセミナー
 ・日 時 平成25年2月15日13時30分
 ・場 所 釜石市
 ・出席者 産業振興部 猪股

シ) 金融の円滑化と中小企業支援策に関する説明会

- ・日 時 平成 25 年 3 月 5 日 13 時 30 分
- ・場 所 盛岡市
- ・出席者 新沼局長

<塩釜商工会議所>

1. しおがま会議所ニュースへの震災関連情報の継続掲載
平成 24 年 4 月 1 日号より平成 25 年 3 月 15 日号
(毎月 1 日・15 日発行、各 2,300 部)
2. 東日本大震災の記録「心を合わせ復興へ」
 - ・発行日 平成 24 年 7 月 31 日
 - ・発行部数 2,000 部
 - ・配布先 全会員事業所 (平成 24 年 8 月に訪問し、配布)
3. 本町・宮町商店街マップ
 - ・発行日 平成 24 年 11 月 1 日
 - ・発行部数 1,000 部
4. 各種復興支援事業等周知関係 (会議所ニュースへのチラシ折込)
平成 24 年 6 月 1 日号 事業再開支援事業補助金
15 日号 (同上)
15 日号 再生 PC 無償提供支援事業
12 月 1 日号 塩釜サポートセンター開設 (雇用助成金活用・雇用創出)
平成 25 年 3 月 15 日号 施設設備復旧支援事業補助金
5. 震災復旧・復興状況洋上視察
 - ・開催日 平成 24 年 8 月 28 日
 - ・参加者数 参加者数 32 名 (当所役員・議員)
 - ・説明者 宮城県地方振興事務所水産漁港部
宮城県仙台塩釜港湾事務所
6. 東北六県商工会議所女性会連合会総会への参加・広報
平成 24 年 7 月 6 日、天童
7. 全国商工会議所女性会全国大会九州大会への参加・広報
平成 24 年 10 月 4 日、5 日、北九州

<石巻商工会議所>

1. 支援制度説明会
東日本大震災の被災者のため、国・県等はさまざまな支援施策を創設し支援。被災者の復旧・復興の促進と事業者の経営基盤の安定を図るため支援制度説明会を開催。

内 容	日 時	場 所	参加者	説明者	内 容
東日本大震災事業者再生支援機構説明会	平成 24 年 4 月 27 日	石 巻 グ ラ ン ド ホテル	60 名	東日本大震災 事業者再生支 援機構	二重債務
中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に関する説明会	平成 24 年 9 月 13 日	石 巻 グ ラ ン ド ホテル	450 名	宮城県	中小企業等グル ープ施設等復旧 整備補助事業
石巻市水産加工業再生支援事業説明会	平成 24 年 10 月 1 日	石 巻 市 中 央 公 民 館	199 名	石巻市	水産加工業再生 補助事業
災害公営住宅買取説明会	平成 24 年 12 月 4 日	石巻市役所	20 名	石巻市	災害公営住宅買 取説明会
中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に関する説明会	平成 24 年 12 月 19 日	石 巻 グ ラ ン ド ホテル	150 名	宮城県	中小企業等グル ープ施設等復旧 整備補助事業

※その他、復興会議において国・県の支援制度等を説明

2. 情報発信事業

震災後、会員事業所より要望が多かったのが情報である。国・県・市等の復興支援施策を会報やホームページに掲載し情報を発信。

<気仙沼商工会議所>

1. 東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会の開催および日本商工会議所との意見交換等
 - ・日商会頭と東日本大震災沿岸地区商工会議所連絡会との意見交換会（平成 24 年 7 月 24 日、東京）
 - ・東日本大震災沿岸地区商工会議所連絡会の開催（平成 25 年 2 月 20 日、東京）

2. 「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」支援

【採択グループ】

第 5 次～第 7 次にかけての申請にて被災事業者のための取りまとめ業務を行い、第 5 次で 92 者、第 6 次で 374 者、第 7 次で 43 者の計 509 者の採択。

3. 会員対象ニーズ調査の実施

- ・被災から復旧復興に向けての会員ニーズを把握するため実施
調査期間：平成 24 年 4 月

<いわき商工会議所>

- ・前例被災地における各種支援と現況についての情報収集
- ・復興支援に関するパンフレット、小冊子等作成および情報発信事業
- ・各地方新聞社をはじめとするメディアへ、復興応援メッセージの掲載発信

<原町商工会議所>

1. 「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（グループ補助金）申請に係る緊急要望」（平成 24 年 6 月 6 日、東京）

(要望先) 中小企業庁 経営支援部長 徳松 有治 氏
文部科学省 スポーツ・青少年局長 久保 公人 氏

2. 「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」支援

【採択グループ】申請8件 採択8件

3. 情報提供活動

- ・会報・弁護士による個別法律相談会案内・会員実態調査結果等送付
- ・原子力損害賠償の請求方法に関する特別相談会開催案内送付
- ・「避難解除区域における課税の特例措置」の勉強会開催案内送付
- ・会報・会員有志・除染作業にかかる賠償責任保険等送付
- ・会報かわら版・福島復興再生特別措置法のお知らせ等送付
- ・会報・被災中小企業復興支援リース補助事業案内等送付
- ・青色申告決算申告に関する勉強会・ふくしま産業復興雇用支援事業（助成金）送付

<相馬商工会議所>

- ・報告書「東日本大震災からの一年の記録」

件名	発行回数	発行部数
東日本大震災からの一年の記録	1回（平成25年5月28日発行）	400部（A4 40頁）

(2) 施設の設置、維持および運用に関する事業（同条第7号）

① 商工会議所会館の修繕・建て直し、再建費、設備什器備品の購入費

<釜石商工会議所>

- ・会館（3階）修繕、復旧工事代
- ・LED街灯設置工事代
- ・会議室等備品購入代（机、椅子等）
- ・会議所用駐車場地代、整備費用

<宮古商工会議所>

- ・ストーブ2台
- ・カメラ1台
- ・脚立1台
- ・レーザープリンタ1台 ーに係る購入費

<大船渡商工会議所>

- ・新会館建設地土地賃借料、補助金導入に伴う日商との打合せ費用
- ・会館建設委員会開催費
- ・新会館建設に伴う費用（入札、建築確認申請ほか）
- ・被災物件リース料

<塩釜商工会議所>

- ・相談室冷房設置工事
- ・会館雨漏り修繕工事

- ・会館敷地廻りフェンス一部修繕工事
- ・下水配管詰り修繕工事
- ・会議室網戸設置
- ・会館玄関前階段修繕工事 ーに係る費用

<石巻商工会議所>

- ・OA 機器等購入費

<いわき商工会議所>

- ・備品購入費（復興相談室仕切りパーテーション、棚類、OA 機器備品類、災害予防対策備品、会議室用テーブル等）
- ・支所破損箇所修繕 等

<原町商工会議所>

- ・会館災害復旧工事費 屋上・外壁補修（平成 24 年 10 月 1 日～12 月 10 日）

<日立商工会議所>

- ・外壁診断調査費
会館外壁前面を外観目視法、赤外線装置法、部分打診併用法により、タイル欠損、モルタル浮き、剥離等の損傷部を調査し、修繕に必要な材料の数量を算定
- ・駐車場地盤補修工事費

② 仮事務所の設置運営費

<大船渡商工会議所>

仮事務所設置費（家賃、電話料、電気料、駐車場料、パソコン・コピーリース、トナー代、ソフト年間保守料他）

- ・所在地 岩手県大船渡市盛町字町 10-11 サンリア内
- ・賃借面積 2階部分 273.1 m² (82.6 坪)

③ 共同店舗等バザーの設置経費

<相馬商工会議所>

1. 津波被災地区の再建支援事業

ア) 仮施設整備事業（中小機構が仮施設（店舗・事務所・工場）を整備して、相馬市を通じて被災した中小企業者等へ貸与し、事業活動の再開を支援するもの）

本年度は、出店者の経営支援を重点的に行い、震災復興支援アドバイザーの専門家派遣事業や1周年記念キャンペーン「仮設店舗クーポン事業」、「がんばろう相馬！」ののぼり旗や看板を設置するなど誘客促進の支援を行った。また、仮設店舗の愛称も決定し、今後の活動につなげていく。経営支援は、引き続き行っていく。

- ・主な経過実施事業等

年月日	内容等
平成24年7月2日	中小企業基盤整備機構との仮設事業所事務打合せ

8月2日	かもめーる贈呈式（福島県浜通り郵便局長会寄贈）
9月20日	入居者説明会（塚田・西地区）
10月18日	総合訓練（塚田・西地区）
11月5日	震災復興支援アドバイザー専門家派遣事業（塚田地区）
12月11日	塚田・西地区仮設事業所懇談会
12月19日	震災復興支援アドバイザー専門家派遣事業（塚田・西地区）
12月末日	入居事業所 市内で店舗再開（塚田地区：美容業1・野菜直売1）
平成25年1月15日～ 3月31日	仮設店舗1周年記念キャンペーン「仮設店舗クーポン事業」 ・参加店舗：塚田地区6店舗・西地区4店舗 ・内 容：各店舗ごとのサービス提供
1月25日	震災復興支援アドバイザー専門家派遣事業（塚田）
2月22日	震災復興支援アドバイザー専門家派遣事業（塚田）
2月26日	塚田地区仮設事業所懇談会
3月27日	震災復興支援アドバイザー専門家派遣事業（塚田）

・事業所構成内容

塚田地区仮設事業所（10区画） 『相馬野馬追の郷 はまなす商店街』	（店舗）理容業1・水産卸1・布製品販売1 （事務所）家電製品1・販売業1
西地区仮設事業所（10区画） 『相馬野馬追の郷 さざんか商店街』	（店舗）美容業1・スーパー1・水産加工1・ 衣料販売1・郵便局1
平成24年度再開（退去）事業所	美容業1・野菜販売1（塚田地区）

イ) NPO法人相馬はらがま朝市クラブ支援

津波被災地区の水産加工事業者らが早期復興のための活動を目的にNPO法人組織を結成し、被災者の支援活動を継続している。相馬商工会議所としてこの活動を支援。

年月日	内容	場所
平成24年4月6日 ～平成25年3月31日	はらがま朝市（毎週土日開催）	塚田地区仮設店舗
平成25年3月23日	第1回そうま未来づくりミーティング	相馬市総合福祉センター

(3) 講演会、講習会の開催に関する事業（同条第8号）

① 事業所の復旧、立て直し、営業再開、取引先紹介、資金繰り、雇用確保に関する講習会等の開催費

<釜石商工会議所>

- ・復興支援「市民健康講座」開催費（会場料）

「女性の不調全般」・「睡眠」について講演会を実施。

（講師）金沢医科大学 総合内科学 講師 赤澤 純代 氏
同 呼吸器内科学 助教 藤本 由貴 氏

（出席者数）約60名

<宮古商工会議所>

- ・グループ補助金打ち合わせ等費用（3回分）

- ・復興支援コンサート関連費用（ポスター等）
- ・復旧、復興支援補助金申請に係る旅費（3回）

<塩釜商工会議所>

1. 震災復興特別講演会

ア) 第1回

- ・開催日 平成24年7月6日
- ・内容 「福島原発事故と放射線健康リスク」
- ・講師 福島県立医科大学 副学長 山下 俊一 氏
- ・参加者 98名

イ) 第2回

- ・開催日 平成24年7月31日
- ・内容 「東日本大震災における自衛隊の活動及び周辺国の情勢」
- ・講師 第22普通科連隊長
多賀城駐屯地司令一等陸佐 永田 真一 氏
- ・参加者 132名

ウ) 第3回

- ・開催日 平成24年11月29日
- ・内容 「東日本大震災と日本経済の長期展望」
- ・講師 獨協大学経済学部 教授 森永 卓郎 氏
- ・参加者 256名

エ) 第4回

- ・開催日 平成24年12月6日
- ・内容 「地盤沈下の現状を知る 今後の課題と将来への対策」
- ・講師 東北工業大学工学部 教授 今西 肇 氏
- ・参加者 43名

2. 相談会

小規模事業者経営改善資金（マル経融資）震災対応特別枠利用者への利子補給費について（24年度対象者：12事業所）

<石巻商工会議所>

1. 震災復興セミナー

震災復興と街づくりセミナー

	日時	場所	参加者	講師
中心市街地の早期復興に向けた各種支援制度に関する説明会	平成24年 5月25日	石巻商工会議所	53名	宮城県 石巻市
補助金活用セミナー	平成24年 7月4日	石巻商工会議所	44名	清野経営事務所 清野 浩司 氏
補助金の会計処理及び税務セミナー	平成25年 2月4日 2月20日	石巻商工会議所	125名	有限責任監査法人 トーマツ仙台事務所 公認会計士 下山誠氏

- ・開催日 平成 24 年 6 月 29 日
2. 「避難解除区域における課税の特例措置」勉強会
 - ・講師 小野英助税理士事務所 小野 英助 氏
 - ・開催日 平成 24 年 7 月 20 日
 3. 南相馬市東日本大震災震災遺児等支援事業 鎌田實&さだまさしトークライブ
 - ・講師 医師 鎌田 實 氏、歌手 さだ まさし 氏
 - ・開催日 平成 24 年 8 月 1 日
 4. 「補助金に対する会計処理」および「復興支援税制」についての勉強会
 - ・講師 有限責任監査法人トーマツ仙台事務所 下山 誠 氏
 - ・開催日 平成 24 年 11 月 14 日
 5. 東京電力株式会社への損害賠償請求に関する研修会
 - ・講師 弁護士法人新開法律事務所南相馬事務所 弁護士 白鳥 剛臣 氏
 - ・開催日 平成 24 年 11 月 7 日

<会津喜多方商工会議所>

- ・福島復興講演会
「原発 3 キロ圏内からの脱出」～今まで そしてこれから～
講師 株式会社夢企画 代表取締役社長 川崎 葉子 氏
開催日 平成 24 年 9 月 10 日

<相馬商工会議所>

1. 放射能セミナー
 - ・開催日 平成 24 年 9 月 7 日
 - ・場 所 相馬商工会議所
 - ・講師 財団法人日本冷凍食品検査協会派遣講師
 - ・参加者 31 名
 - ・主 催 相馬商工会議所 水産業部会・中小企業相談所
2. マル経利子補給制度
市内小規模事業者の早期復旧と事業の再建を支援するため、小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を利用した小規模事業者に対し、相馬商工会議所が当該融資にかかる利子のうち 1 % を補給。

(4) 博覧会、見本市等の開催および開催のあつ旋に関する事業（同条第 10 号）

① 被災地内外における復興展示会・イベント・物産展の開催費

<釜石商工会議所>

1. 「三陸いわて釜石ふるさと市」開催費
 - ・開催日 平成 24 年 8 月 23 日、24 日
 - ・場 所 東京都 銀座いきなり市場入口
 - ・開催概要 少しではあるが釜石産品が製造再開してきており、被災地の現状を

知ってもらい今後の本格再開・販路に繋げることを目的に、釜石産品販売およびPR活動を実施

2. 「第2回震災復興元気市」開催費

- ・開催日 平成25年3月10日
- ・場 所 埼玉県飯能市「震災復興元気市」
- ・開催概要 飯能市より招待を受け、被災地応援ブースに出店し釜石産品の販売およびPR活動を実施

<宮古商工会議所>

1. 銀座いきなり市場関係旅費等（平成24年4月1日～8月31日、銀座）
2. 復興支援コンサート（平成24年10月18日、浄土ヶ浜パークホテル）
3. 秋刀魚、秋の試食会（平成24年10月7日）チラシ代
4. 余目そばまつり関係旅費（平成24年11月3日、秋田県大仙市）
5. 女性会創立30周年記念を通じたPR経費（寄贈座布団直し等）

<大船渡商工会議所>

1. 平成24年度三陸・大船渡東京タワーさんままつり
 - ・開催日 平成24年9月23日
 - ・場 所 東京
 - ・開催概要 日本屈指の観光名所「東京タワー」において、大船渡港に水揚げされた新鮮なさんまおよび市内特産品を通して「三陸・大船渡」を情報発信し、大船渡市の知名度アップと水産物等の販路拡大を図る。東日本大震災からの復興活動として、活気ある姿をPRするとともに、観光誘客の拡大を図る。
2. 震災復興元気市
 - ・開催日 平成25年3月10日
 - ・場 所 埼玉県飯能市
 - ・開催概要 震災から2年を迎えるにあたり、震災を忘れず継続的に被災地を応援することを目的として、西武鉄道、JR等の沿線のグルメや特産品を飯能で紹介することを通じて復興への思いを共有する。
3. 平成24年度「三陸沿岸食品見本市」出店旅費
 - ・開催日 平成25年3月6日～8日
 - ・場 所 千葉市 幕張メッセ
 - ・開催概要 県内外の流通者に対し、三陸沿岸地区の水産加工食品を中心に広く紹介するとともに、各流通業者から商品開発や流通事業等に関する情報の取得、他社の販売促進技術を肌で感じることで地場産品の販路拡大を支援し、ひいては参加企業の進行発展に寄与する。

<塩釜商工会議所>

1. イベント開催

ア) しおがま・みなと復興市場（仮設店舗）1周年「元気祭」

- ・開催日 平成24年9月16日
- ・場 所 しおがま・みなと復興市場・港町公園
- ・出店数 20店舗
- ・来場者 約1,000名

イ) 「2012 震災復興しおがま歳末セール」

- ・開催期間 平成24年12月
- ・参加店数 96店舗

2. 各地物産展出展

ア) 「銀座いきなり市場」

- ・開催日：平成24年1月5日～8月31日、7社出展

イ) 「太陽生命保険株式会社 復興支援」（商品販売）

- ・開催日：平成24年4月～11月、5社出展

ウ) 「第58回焼津みなと祭」

- ・開催日：平成24年4月8日、5社出展

エ) 「大阪府大東市婦人会イベント」

- ・開催日：平成24年4月28日、4社出展

オ) 「大阪府交野ロータリークラブイベント」

- ・開催日：平成24年8月4日、5日、5社出展

カ) 「山形市初市」

- ・開催日：平成25年1月10日、3社出展

キ) 「大阪府交野ロータリークラブイベント」

- ・開催日：平成25年2月24日、7社出展

3. 展示会 「2013 塩釜フード復興見本市」

- ・開催日 平成24年2月20日
- ・場 所 ホテルグランドパレス塩釜
- ・出展者数 33社
- ・来場者数 約1,050名

<石巻商工会議所>

1. おらほの復興市 ～石巻・女川・東松島～

地域の魅力と現状を伝える場として「伝えたい、今を、感謝を」というメッセージを掲げ開催。地域の地場製品の販売、郷土芸能を披露。

- ・日 時 平成24年11月11日 9:00～15:00
- ・場 所 サンファン・バウティスタパーク
- ・出店数 31社
- ・主 催 おらほの復興市実行委員会
- ・後 援 石巻市・女川町・東松島市
- ・主な行事 石巻圏域（石巻・女川・東松島）の地場製品ならびに飲食物販売他

2. さあたちあがれ石巻 まるごとフェスティバル

駅前広場を会場に市製品の販売、各種イベント等を実施し、街のなかに人込み、地元商店街と連携しながら賑わいの創出に努めた。市製品の再認識と販路拡張を図り、石巻産業の早期復興を目的に開催。

- ・日 時 平成 24 年 12 月 15 日、16 日 10:00～15:00
- ・場 所 石巻駅前にぎわい交流広場
- ・出店数 23 社
- ・主な行事 石巻圏域（石巻・女川・東松島）の地場産品ならびに飲食物販売、ステージ（太鼓演奏・YOSAKOI・歌謡ショー・こどもショー等）

3. 仮設店舗事業におけるイベント

仮設店舗事業における商店街の活性化、消費者の利便性の向上、地震・津波の災害により被害を受けた商店街の早期復興と誘客を図るためイベント事業を展開。

<気仙沼商工会議所>

1. 東日本復興応援プロジェクト from 銀座事業への取り組み

- ・期間 平成 23 年 10 月より実施
- ・場所 銀座 TS ビル
- ・概要 気仙沼地域のみならず被災地域〔東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会に加盟する 10 商工会議所(八戸、久慈、釜石、宮古、大船渡、気仙沼、石巻、塩釜、仙台、いわき)〕の製品の販売支援〈1階. 銀座いきなり市場〉、ならびに被災地域の情報発信・交流イベント等〈2階. ひろがれ舞台〉を開催
- ・販売商品数 128 事業所、630 商品
- ・来場数 約 10 万人

2. 「沼田ふびす講」（交流イベント）等への参加

ア) 沼田ふびす講

- ・開催日 平成 24 年 11 月 10 日、11 日（沼田市）

イ) つるおか大産業まつり

- ・開催日 平成 24 年 10 月 20 日（鶴岡市）

ウ) 青梅産業まつり

- ・開催日 平成 24 年 11 月 3 日、4 日（青梅市）

3. 「気仙沼みなとまつり」の開催に関する諸費用

ア) 平成 23 年度、東日本大震災の影響により中止となった気仙沼みなとまつりが、開催されるにあたり、インドネシアとの交流のシンボルであった「バリパレード」用の各種備品が流失していたことから、それらの備品を再度作成するための資金助成を行った。

イ) まつり当日（8 月 12 日）には、駐日インドネシア大使他大使館職員等を招き、さらなる交流を深めた。

<いわき商工会議所>

1. 各地の復興支援イベントへ参画し、被災地の現状をアピール
 - ・藤沢市フェスティバル
(平成 24 年 5 月 26 日、27 日、7 月 28 日、9 月 28 日～30 日、平成 25 年 1 月 25 日、3 月 15 日)
 - ・辻堂フェスティバル (平成 24 年 9 月 28 日～30 日)
 - ・鎌倉イベント (平成 24 年 5 月 19 日、20 日)
 - ・飯能イベント (平成 24 年 10 月 20 日、平成 25 年 3 月 10 日)
2. いわき復興祭等地域のイベント・物産展への出店

<原町商工会議所>

1. イベント参画
 - ・みんなであそぼ！みんな共和国 (平成 24 年 3 月 25 日～4 月 8 日)
 - ・東北六県商工会議所女性会連合会総会・協賛イベント
「復興祈願・七夕縁結び祈願祭」(平成 24 年 7 月 6 日、7 日)
 - ・福島県産品および観光振興 PR 事業「ふくしま市 in 神楽坂」
(平成 24 年 7 月 25 日、26 日、平成 24 年 10 月 27 日)
 - ・滋賀県商工会議所女性会連合会と福島県商工会議所女性会連合会との交流会
～復興支援御礼訪問～ (平成 25 年 2 月 6 日、7 日)
2. イベントにおける復興 PR
 - ・各種イベント参加におけるハッピー作製 60 枚

<会津喜多方商工会議所>

1. 早期復旧・復興を掲げ、共通の目標の下で取り組めるよう女性会復興法被を作成し、被災地内外におけるイベントで全員揃って着用した。(20 着作成)
2. 復興支援事業「第 8 回 喜多方レトロ横丁」
 - ・開催日 平成 24 年 7 月 21 日、22 日
 - ・概要 日本中が活気に溢れ、大人から子供まで誰もが夢と希望を抱き続けた昭和 30 年代をコンセプトとした約 50 のイベントを開催。同事業を通じて、風評被害払拭を目的としながら、今失われつつある触れ合いや世代間交流、魅力ある観光資源の再発掘さらには地域づくりに対する地域住民の意識高揚が図られた。

<相馬商工会議所>

1. 賑わい創出事業
 - ア)「そうまぐるっと市」

空洞化しつつある商店街の活性化の一助となるべく、来街者の増加を図るために商業部会が企画。相馬市で取り組む「お出かけミニバス」事業と一体的に取り組む、震災後の交流人口の増加と中心市街地の活性化を図った。市外からの避難者への販売促進対策としても貢献した。

 - ・開催期間 平成 23 年 11 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

- ・加盟店数 38～43 店舗（月毎に変動あり）
 - ・応募総数 25,807 人
- イ)「そうまぐるっと市ナイトバザール」
市街地のイルミネーション事業開催に合わせ、夕方から夜間にかけて、新たな顧客開拓手法として、ぐるっと市の加盟店の協力を得て実施した。
- ・開催日時 平成 24 年 12 月 7、8、14、15 日 17:00～21:00
 - ・加盟店数 20 店舗
- ウ)「とくうまクーポン」
クーポン券付パンフレット「とくうまクーポン券」を作成し、相馬市民および仮設住宅に配布した。加盟店は独自のサービスを提供しながら顧客の新規開拓や販売促進を図った。
- ・実施期間 平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日
 - ・加盟店 28 店舗
 - ・利用枚数 2,013 枚
- エ)「So!馬コン」(街コン)
震災後の交流人口の増加と中止市街地の活性化のため実施した。
- ・開催日時 平成 24 年 12 月 8 日 17:00～21:00
 - ・加盟店 11 店舗
 - ・参加者 145 名（男性 96 名、女性 49 名）
- オ)「ひなめぐり」
参加店（事業所）の PR、周遊促進、賑わい創出を図るとともに、震災後の明るい話題提供を兼ね実施した。
- ・開催日 平成 25 年 2 月 22 日～3 月 3 日
 - ・参加店 36 店舗
 - ・主 管 相馬商工会議所 女性会
- ひなめぐりスタンプラリー
- ・抽選会 平成 25 年 3 月 5 日
 - ・景 品 商品券 (2,000 円) 40 本
 - ・応募数 359 名
- つるし雛展示
- ・開催期間 平成 25 年 2 月 26 日～3 月 3 日
 - ・開催場所 道の駅「そうま」体験実習館
- ひな茶会・箏の演奏会
- ・開催日 平成 25 年 3 月 3 日
 - ・開催場所 道の駅「そうま」体験実習館

2.「頑張ろう！相馬フラッグ」配布

震災からの復興の気運の盛り上がりを市内外にアピールするために作成し、市内商店街や会員等に配布した。

- ・配布先 市内商店街、金融機関、民宿旅館、会議所議員事業所（希望者）
- ・配布開始 平成 24 年 7 月 25 日～ 震災支援のお礼時持参
- ・作成枚数 1,100 枚

3. 「e 顔プロジェクト」事業

震災に負けないで「みんなで明るくいい顔になろう！」との趣旨で女性会が実施。会員約 30 名が、東日本大震災からの一日も早い復興を願い、色とりどりのパンジーの苗をプランターに植栽し、会員事業所に配布した。

- ・実施日 平成 24 年 6 月 12 日
- ・主 管 相馬商工会議所 女性会

<土浦商工会議所>

キララまつり 2012 の開催

- ・開催日 平成 24 年 8 月 4 日、5 日
- ・場 所 土浦駅前通り
- ・内 容 イベント衣装を製作して、30 名で参加

(5) 商事取引の紹介およびあつ旋に関する事業（同条第 11 号）

① 被災地中小企業の販路開拓支援等事業の運営費

<相馬商工会議所>

1. 相馬商工会議所推奨物産品認定事業

会員事業所が生産もしくは製造・加工した物産品の中から、相馬の物産としてふさわしい商品がある一定基準のもとに会頭が認定し、物産品の販路拡大・商品開発を支援することを目的として実施予定であったが、本年度は、原発事故の影響で地元の産品の使用が制限される中、相馬に今あるものを認定し、販路の拡大に役立て、さらに、相馬が“がんばっている”ことを市内外に発信していくきっかけにすることを目的に、相馬復興応援「がんばろう相馬！」事業として「推奨物産品発掘事業」を実施し、推奨物産品リーフレット「相馬逸品」を発行した。市内外の各機関に配布し PR に努めた。

ア) リーフレット「相馬逸品」発行（23 事業所 54 品目掲載）

- ・発行日 平成 25 年 2 月 1 日
- ・発行部数 10,000 部
- ・配布先 会員事業所、道の駅「そうま」、市内公共機関、金融機関、旅館、パークゴルフ場、福島空港、コラッセふくしま 他

イ) 会議・日程等

開催年月日	出席者数	議題	開催場所
平成24年6月18日	5名	第5回認定審査会 1. 相馬復興応援「がんばろう相馬！」事業について 2. その他	相馬商工会議所
8月9日	5名	第6回認定審査会 1. 相馬復興応援「がんばろう相馬！」事業について 2. 推奨物産品の発掘事業案について 3. その他	相馬商工会議所
9月1日～10月31日	—	相馬復興応援「がんばろう相馬！」 「相馬商工会議所推奨物産品」募集	全会員事業所 1,219社

11月29日	6名	第7回認定審査会 1. 第1回推奨物産品認定審査について 23事業所 54品目認定 2. 推奨物産品認定マークのデザイン選定について 3. 今後の予定について 4. その他	相馬商工会議所
平成25年1月17日	7名	第8回認定審査会 1. 推奨物産品リーフレット等の内容確認について 2. 今後の予定について 3. その他	相馬商工会議所
1月30日	17名	認定事業所説明会 「相馬逸品」リーフレット・認定シールの取扱い等について	相馬商工会議所
	6名	相馬商工会議所推奨物産品認定事業「相馬逸品」リーフレット完成記者発表	相馬商工会議所
2月1日	—	相馬商工会議所推奨物産品認定事業 「相馬逸品」 10,000部発行 認定シール 70,000枚発行 23事業所 54品目 配布先：会員事業所、道の駅「そうま」、市内公共機関、市内金融機関、市内旅館、パークゴルフ場、福島空港、コラッセふくしま 他	相馬商工会議所

② 遊休機械設備マッチング支援経費

<石巻商工会議所>

1. 遊休機械マッチング支援事業

東日本大震災で被災を受けた中小企業の事業の立ち直りを支援するため、全国各地の商工会議所と連携をとり、製造工作機械の破損・潮水による制御不能等の理由で事業復興・継続に支障をきたしている被災事業者に対して、遊休機械を無償で提供し、事業再開の手助けとなる事業を展開した。

遊休機械無償マッチング支援事業は、すぐに効果がみえる事業である。多くの会員事業者にも活用され喜ばれている。

提供企業数	譲受企業数	提供機械数
25社	9社	241点 卓上ボール盤・フライス盤・溶接機・旋盤・切断機・研磨機・フォークリフト・トラック 等

2. 再生PC支援プロジェクト

東日本大震災で被災を受けた中小企業の事業再開を支援するため、全国の国公立大学私立大学 50校で構成する大学 ITC 推進協議会と日本マイクロソフト株式会社が日本商工会議所を通じてPCを寄贈。当石巻においても189台のPCの寄贈を受けた。

<気仙沼商工会議所>

1. 遊休機械設備および再生 PC マッチング支援プロジェクト事業の実施
提供 65 社
譲受 629 点
2. 三陸産業再生ネットワーク事業への参画
・気仙沼・石巻の商工会議所と石巻専修大学そして気仙沼・石巻の信用金庫が一体となって地域経済の再生にむけた方策を検討することを目的とする事業
3. 地域復興マッチング「結の場」事業への参画
・復興庁の主導による、大手企業の経営資源を被災地域の企業と効果的に繋ぐことにより、個々の企業努力では解決できない課題を解決し、地域経済の再生にむけた目的とする事業

<原町商工会議所>

1. 遊休機械無償マッチング支援プロジェクト
平成 24 年 5 月 16 日 譲受企業 9 事業所
平成 24 年 12 月 19 日 譲受企業 3 事業所
2. 再生 PC 寄贈プロジェクト
平成 24 年 6 月 1 日 譲受企業 91 事業所

<相馬商工会議所>

1. 遊休機械無償マッチング支援プロジェクト事業支援
全国各地の商工会議所と連携を図り、遊休機械や事務用品等を支援する「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト事業」を日本商工会議所と東北六県商工会議所連合会が中心となって展開した。相馬商工会議所では、同プロジェクトの実施にあたり、東北六県商工会議所連合会（事務局：仙台商工会議所）との連携を図り、事業の推進を図った。
提供 6 社
譲受 35 点
2. 再生 PC 寄贈プロジェクト
本年は、再生 PC 寄贈プロジェクトを、日本マイクロソフト株式会社・大学 ICT 推進協議会（国公立大学 50 校で構成。事務局：九州大学）・日本商工会議所が連携して実施。日本マイクロソフト株式会社が再生用ライセンスを準備、大学側が PC を提供し、相馬商工会議所を通じて、再生した PC が被災事業所に対して無償提供された。

年月日	内容	場所	受領事業所数
平成24年 8 月 27 日	第 1 回贈呈式	相馬商工会議所	34事業所
平成25年 3 月 18 日	第 2 回贈呈式	相馬商工会議所	23事業所

(6) 商工業の相談および指導に関する事業（同条第13号）

① 被災された小規模事業者の巡回指導用車両（自動車、バイク、自転車等）の購入

<石巻商工会議所>

- ・巡回指導用車両については、支援物資で対応
- ・軽貨物 1台

<いわき商工会議所>

- ・軽乗用車3台（各3支所用）

<原町商工会議所>

- ・普通自動車 1台

② 被災した中小企業への訪問・総合特別相談窓口の設置

<宮古商工会議所>

- ・巡回用ガソリン代、駐車場代 等

<大船渡商工会議所>

1. 経営指導員の巡回指導

項目	件数
経営革新	13件
経営一般	1,063件
情報化	8件
金融	75件
税務	77件
労働	33件
取引	55件
環境対策	1件
その他	133件

2. 税務申告に関する事業

個人・法人事業所の記帳継続指導・税務申告指導事業

税目	内訳	件数
法人税	法人	237件
所得税	個人	1,464件
消費税	法人	174件
	個人	280件
合計		2,155件

<石巻商工会議所>

東日本大震災の発災により、被災中小企業者は経営上あらゆる相談事が出てきた。さまざまな相談に応じるべく、相談窓口を商工会議所1階に開設し、中小企業診断士や社会保険労務士などの専門家と当所経営指導員が無料で相談に応じた。

また、中小企業基盤整備機構の支援のもと、毎週1回定例日も設けて経営相談に

あたっている。

さらに、二重債務解消に向け、当所1階に「相談センター」と「東日本大震災事業者再生支援機構」の相談窓口を設置し、二重債務の相談に応じている。

- ・ 中小企業等グループ補助事業認定申請に伴う個別相談会

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成24年4月16日～ 5月8日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	463名
平成24年9月18日～ 10月10日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	592名
平成25年2月4日～ 2月7日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	78名

- ・ 中小企業等グループ補助事業交付申請に伴う個別相談会

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成24年12月19日～ 12月25日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	390名
平成25年3月4日～ 3月6日	商工会議所	中小企業診断士・経営指導員	51名

- ・ 中小企業基盤整備機構による定例相談会

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成24年6月12日～ 平成25年3月29日	商工会議所	中小企業診断士・会計士 ・税理士	62名

- ・ 東日本大震災事業者再生支援機構による個別相談

設置期間	設置場所	指導担当	相談実績
平成24年6月5日～ 平成25年3月12日	商工会議所	東日本大震災事業者再生 支援機構	146名

※事業継続中

<気仙沼商工会議所>

- ・ 会員事業所への震災見舞として気仙沼商品券を贈呈

平成23年度に引き続き全会員事業所を職員が訪問し企業の被災状況や所在確認等を行い、あわせて震災見舞として気仙沼商品券5千円分を贈呈した。平成24年度上半期で終了

<原町商工会議所>

- ・ 弁護士による個別相談会 67件

<相馬商工会議所>

1. 相談窓口の設置

平成23年3月の震災発生後に開設し、本年度も引き続き開設。被災した事業者への支援策の相談窓口として経営指導員を中心に対応した。

実施期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
内 容	金融・税務・経営等全般
相談件数	407件

2. 「中小企業等グループ施策等復旧整備補助事業」

同事業は、複数の中小企業者等でグループを形成し、そのグループで復興事業計画を作成し、地域経済・雇用に重要な役割を果たすものとして県から認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備に対して補助を受けられる制度。福島県第1次募集は平成23年9月から開始されている。

本年度も、グループの組成段階から申請書の作成指導といった最終の申請段階に至るまで、グループリーダーと連携しながら一貫した支援を行い、相馬地域のグループ補助金の案件組成に主導的な役割を果たすことを通じて、相馬地域の復旧・復興に貢献した。

【採択グループ】

平成24年度採択を受けた当所管内グループ（平成25年3月末現在）

募集時期	採択グループ名
福島県5次募集	1. 相馬市水産流通関連グループ（50社） 2. 相馬医療生産工業関連グループ（10社） 3. 相馬地区住宅・施設復興グループ（27社） 4. 相馬市連合商栄会 追加（51社）
福島県6次募集	1. 相馬港港湾関連物流グループ（25社） 2. 相馬市ホテル旅館組合グループ（8社） 3. 心と体の健康づくり相馬復興グループ（12社）
福島県7次募集	1. 相馬・飯舘石材業復興グループ（17社）
計 8グループ（200社）	

(7) 観光事業の改善発達（同条第15号）

① 被災地域における観光客誘致事業に係る経費

<宮古商工会議所>

- ・視察研修会費用（8回分）
- ・女性会会報代

<北上商工会議所>

- ・沿岸商工会議所女性会（釜石・大船渡）支援に関する事業

被災された釜石・大船渡商工会議所女性会会員を北上市で開催している「北上展勝地さくらまつり」へ招待し、交流を深めるとともに、観光・物産の振興を図る目的で行った。

ア) 支援内容

- ・送迎用貸切バス代（2台）
- ・北上展勝地さくらまつり視察代（駐車場代・渡し舟利用料）
- ・交流会実施費用（会場代・飲食代等）等

イ) 参加者数

- ・釜石商工会議所女性会 10名
- ・大船渡商工会議所女性会 18名
- ・北上商工会議所女性会 37名

<仙台商工会議所>

全国商工会議所女性会宮城全国大会 PR 旅費

- ・実施日 平成 24 年 10 月 5 日、6 日
- ・会場 北九州市西日本総合展示場
- ・参加人数 309 女性会、2,643 名
- ・当女性会参加人数 26 名（宮城県内女性会 66 名にて参加）
- ・概要 第 44 回全国商工会議所女性会連合会全国九州大会へ、当女性会より 26 名が参加し、次年度の平成 25 年度第 45 回全国商工会議所女性会連合会全国宮城大会への多くの方の参加を呼び掛けた。

<気仙沼商工会議所>

女性会全国大会参加への助成

- ・開催日 平成 24 年 10 月 5 日、6 日
- ・会場 北九州市西日本総合展示場
- ・参加人数 309 女性会、2,643 名
- ・当女性会参加人数 10 名（宮城県内女性会 66 名にて参加）
- ・概要 第 44 回全国商工会議所女性会連合会全国九州大会へ、当女性会より 10 名が参加し、次年度の平成 25 年度第 45 回全国商工会議所女性会連合会全国宮城大会への多くの方の参加と、気仙沼の観光客誘致を目的として、記念式典および大懇親会にて PR を行った。

<いわき商工会議所>

- ・風評被害を払拭するため、女性会主催による観光復興の事業実施
- ・関東圏への観光復興 PR

<原町商工会議所>

- ・福島県のお祭りとお観光振興事業「相馬野馬追視察」（平成 24 年 7 月 28 日、29 日）
- ・東京商工会議所相馬野馬追視察会（平成 24 年 7 月 29 日）
- ・新潟県三条市・三条商工会議所野馬追通り栈敷席招待（平成 24 年 7 月 29 日）
- ・相馬野馬追の里商標登録申請 平成 25 年 2 月 15 日登録
指定商品 茶、コーヒー、ココア、サンドイッチ、中華まんじゅう、ハンバーガー、ピザ、ホットドッグ、ミートパイ、みそ、アイスクリームのもと、シャーベットののもと、コーヒー豆、ぎょうざ、しゅうまい、すし、たこ焼き、弁当、ラビオリ
- ・原町商工会議所復興マスコットキャラクター「のまたろー」著作物存在事実証明申請 平成 24 年 9 月 21 日

<相馬商工会議所>

1. 観光業復興支援懇談会

相馬市の基幹産業である観光関連業が、東日本大震災の津波および原発事故により、長年かけて育ててきた貴重な観光資源に甚大な被害を受けた状況を踏まえ、一日も早い復興を促すために立ち上げた組織。

（内容）・市内の各旅館の再開状況や再開後の問題点などの確認

- ・観光業支援事業案の検討や被災地視察研修コース、「復興チャレンジ井」

の試食会などを開催

・平成23年10月から開催。今年度末まで、計15回開催。

委員名簿

No.	団体および事業所名	役職	氏名
1	相馬商工会議所	会頭	荒井 宏美
2	相馬商工会議所	専務理事	石橋 俊郎
3	相馬市	産業部長	吉野 光一
4	相馬市	商工観光課長	佐藤 栄喜
5	松川浦旅館組合	組合長	管野 正三
6	相馬市ホテル旅館組合	組合長	羽柴 幸洋
7	有限会社晴風荘	代表取締役	坂本 正夫
8	ホテル飛天	代表取締役	宗形 英雄
9	松川浦観光振興グループ	代表	小野 芳征
10	相馬市観光協会	事務局長	反畑 正博
11	相馬商工会議所	事務局長	早川 悦子
12	相馬商工会議所	総務課長	吉田 一直

会議内容

回次	年月日	議題および内容等	出席者数	開催場所
7回	平成24年4月27日	懇談会 1. 旅館の営業状況について 2. 「被災地視察研修会」コースについて 3. 「復興チャレンジ井」試食講評 4. その他	11名	道の駅「そうま」体験実習館
		・被災地視察研修コース試乗会	25名	市内被災地沿岸部
		・「復興チャレンジ井」試食会	48名	道の駅「そうま」体験実習館
8回	7月5日	懇談会 1. 旅館の営業状況について 2. 「被災地視察研修会」コースについて 3. 「復興チャレンジ井」試食講評 4. その他	9名	相馬商工会議所
9回	8月23日	懇談会 1. 旅館の営業状況について 2. 「被災地視察研修会」コースについて 3. キャンペーン事業等について 4. その他	8名	相馬商工会議所

10回	9月28日	懇談会 1. 旅館の営業状況について 2. 被災地視察状況について 3. 試食会結果について 4. その他	10名	相馬商工会議所
		・「復興チャレンジ 秋の食彩祭」試食会	40名	道の駅「そうま」体験実習館
11回	10月29日	懇談会 1. 旅館の営業状況と今後の対策について 2. 被災地視察状況について 3. その他	12名	相馬商工会議所
12回	12月3日	懇談会 1. 旅館の営業状況と今後の対策について 2. 被災地視察状況について 3. 今後の活動方針について 4. その他	8名	相馬商工会議所
13回	平成25年1月10日	懇談会 1. 「復興チャレンジ 冬の食彩祭」試食講評 2. 旅館の営業状況と今後の対策について 3. 被災地視察状況について 4. 今後の活動方針について 5. その他	12名	道の駅「そうま」体験実習館
		・「復興チャレンジ 冬の食彩祭」試食会	40名	道の駅「そうま」体験実習館
14回	1月17日	改売保全基本計画の変更骨子（案）説明会 1. 海岸保全基本計画の変更骨子（案）について 2. 海岸保全基本計画の変更骨子（案）に関する県民意見の募集について 3. 意見交換 講師：福島県相双建設事務所 福島県相馬港湾事務所	52名	相馬商工会議所

15回	2月27日	講演会と意見交換会 テーマ：今後の観光振興対策について 講師：東北運輸局 企画観光部長 坂本 慶介 氏	29名	相馬商工会議所
-----	-------	--	-----	---------

<須賀川商工会議所>

- ・開催日 平成 24 年 5 月 12 日
- ・場 所 須賀川牡丹園
- ・入場者数 400 名
- ・概 要 東日本大震災からの復興と地域振興の一環として、震災により被災した当地を代表する観光資源の国指定名勝「須賀川牡丹園」を会場として、夜牡丹を鑑賞しながらの「夜牡丹さわやかコンサート」を実施。市民をはじめ県内外からの入園者に対し、須賀川市および須賀川の観光資源である須賀川牡丹園の復旧・復興をアピールし誘客につなげた。

(8) 行政庁からの委託事務の実施に関する事業（同条第 17 号）

① 地元行政から委託を受けた震災復興に係る事業等の実施費用（自己負担分）

<気仙沼商工会議所>

がんばる商店街復興支援事業委託業務の実施

- ・商店街復興サポーター 7 名を配置
- ・事業内容 指定商店街の共同施設等の管理運営に係る業務
商店街パトロール等商店街の安全安心に資する業務
イベント開催等商店街の明るい雰囲気づくりに資する業務、等

(9) その他被災地の商工業の早期復旧に資すると認められる事業（同条第 18 号）

① プレミアム付商品券の発行費

<気仙沼商工会議所>

1 割増プレミアム商品券（気仙沼商品券）の発行

- ・発行金額 総額 5,500 万円（内プレミアム分 10% 500 万円）
- ・販売期間 平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 4 月初旬

<相馬商工会議所>

相馬復興応援「がんばろう相馬！」事業

- ・「プレミアム商品券」発行
震災からの復興の気運を盛り上げ、市内事業所の売り上げ増と消費拡大に結び付けるため実施した。
- ・発行金額 総額 5,500 万円（内プレミアム分 10% 500 万円）
- ・販売期間 平成 24 年 4 月 15 日～19 日
- ・販売場所 相馬商工会議所
- ・使用期間 平成 24 年 4 月 15 日～8 月 31 日
- ・使用店舗 市内加盟店舗 174 店舗

以 上